

令和6年度 高志中学校1年 「高志学」外部講師リレー講座②

- 1 期 日 7月11日(木)
- 2 場 所 福井県立高志中学校 若葉食堂
- 3 講 師 (前半) 井上リボン工業株式会社 代表取締役社長 井上 博之 様
(後半) 株式会社ワカヤマ 代表取締役社長 若山 健太郎 様
ものづくり戦略室 山本 瀬 菜 様
営業部 西野 成太郎 様
- 4 参加生徒 87名
- 5 報 告

井上リボン工業では、昔は会社の売上のほとんどが衣類だったが、10年～15年ほど前から売上のおよそ6割が産業資材用途となり、Apple Watch 向けのバンドを作ったり、線路に物が落ちたときに通電して走行中の電車に信号が送られる転落検知マットを開発したりするなど、独自のものを作ることを大切にしているのご説明いただきました。講義の質疑応答が終わってから井上先生に質問をする生徒の列ができるほど、興味深いお話をお聞きできました。

ワカヤマでは、モノを作らないモノづくり企業ということで、メッキや塗装などの色付けの会社であるのご説明をいただきました。福井県の課題として、有効求人倍率が高く、昔ながらの技術が若い人に伝わらないと苦慮しておられ、ワークショップなどを通じて技術を伝える努力をしていることをお聞きしました。さらに、「自分が自分らしく生きるためにはどういった仕事で自分を幸せにできるか？」というメッセージをいただき、生徒たちは自分が将来つく仕事について考える良い機会となりました。



[生徒の感想]

- ・今回のお話で一番心に残っているのは、世界、県外に出て、そこで福井を見ることで本当の福井のよさを知ることができるということです。
- ・井上リボン工業の商品がいろいろなところで使われていることを知って驚きました。また、個性を大切にしている会社であると知りとても興味をもちました。金属繊維の作り方がとても興味深かったです。
- ・ワカヤマさんで「自分がやりたいと思う仕事や、自分が得意とするものに関係した仕事は楽しい」とお聞きしたのが印象的でした。私も将来、自分がしたいと思った仕事につけたらと思います。
- ・働いたり勉強したりすることは、お金をかせいだり社会のためでもあるけど、自分が幸せになるためであるという話を聞いて、確かにそうだなと思いました。